

# ふれあい情報

2022年 9月22日 (木) 第352号

■発行 日本退職者連合

■発行人 野田那智子

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp



## 2022年 地方代表者会議を開催

9月15日 ルポール麹町

日本退職者連合は、9月15日、ルポール麹町において、地方代表者会議を開催しました。会議では野田事務局長が今年度方針の具体化にむけた取り組みについて提起を行い、各地方での今後のとりくみや、退職者連合のHPの活用について議論が行われました。

会議の後半は、連合の佐保総合政策推進局長をお招きし、社会保障政策についての学習会を行いました。

### 各地域で

### 政策制度の要請活動を

野田事務局長

この間、各省庁、政党に対して要請行動を行ってきました。今後、地方連連の皆さんにも、各自治体に対する要請活動を行うようお願いしたいと思います。

昨年はコロナ禍の中でも4百あまりの地方での要請行動が行われました。それ以前は6百を超える要請が行

われていました。



野田事務局長

(裏面に  
続く)

## 人見会長 あいさつ

昨日は3年ぶりの高齢者集会の参加、大変ご苦労様でした。

今日の地方代表者会議は、7月の総会で決定した政策・制度要求の取り組みをこれから各地方で実施していただくということで、こちらから提起をし、皆さんからご意見を伺いたいと思っています。

安倍元首相の国葬をめぐることは、各政党も判断が分かれており、「なぜ私に招待状が来たのか」というような声も出ているようです。政府も混乱しているように見受けられます。

統一教会の問題も、非常に根深いものがあります。円安、物価高、原油不足も深刻で、1ドル150円もありうる情勢です。しかし、何の対策も取られておらず、電気料金は高騰しています。



また、オリンピック汚職では逮捕者が出ました。来年度の予算は110兆円規模になるようです。今のところ社会保障の自然増は認められるようですが、一方で防衛費も大きな伸びを示し、さらなる増額も予想されています。

このように様々な課題があるわけですが、やはり国民にしっかり説明していくことが何ととっても求められると思います。

岸田内閣の支持率は下がっており、いつまで持つのかという声もあります。この先自民党が政権維持のために何をやってくるのか。一票の格差の問題で、現状では解散しようにもできないという状況もあります。

そういう中で私たちが求めるのは、国民にきちんと説明し、納得のできる政治です。これからの国会運営をしっかり見極めながら、私たちにできることを考えていきたいと思っています。

（表面より続く）  
**ジェンダー平等**

**方針案に「女性」を**

ジェンダー平等については、一昨年の総会で第一次行動計画の取り組みを提案しています。今年は5年計画の中間年ですが、各地方連連の議案書の中に「女性」という文字が出るなど、徐々に進んでいます。しかし、まだひと言もない組織もあります。まずは明記していただくようお願いしたいと思います。

**統一教会との関係**

**地方議員の点検を！**

統一教会問題については、自民党国会議員の半分近くが関与していることが明らかになりました。自民党は「点検」を行いました。それは「調査」とは違います。この問題は当然選挙にも影響しており、そして統一教会は、地方議員にもかなり浸透しています。来年は統一自治体選挙があります。ぜひ、このような問題意識をもって、地方議員をチェックし、それを踏まえた対応をお願いしたいと思います。

**質疑の概要をお伝えします**

野田事務局長の提起に続いて、早川副事務局長から今年度の政策制度要求の実現に向けた省庁・政党要請行動の概要について、草野副事務局長からは、ホームページの活用に関する提起があり、その後質疑応答が行われました。

**北海道（眞壁事務局長）**

構成組織は産別と地区だが、連携に課題がある。組織拡大アクションプランは、さらに具体化が必要。

（事務局）同じ認識にある。アクションプラン具体化も含め、次回の組織委員会で議論したい。

**宮崎（中村事務局長）**

「子ども基金」は、ほとんど知られていない。子育ての社会化という退連の方針と合致しているのであれば、広く知らせる運動が大事。

（事務局）子ども基金の評価はこれからだが、子育ては自助努力ではなく、公的サービスでまかなうことが必要、という観

**山形（三澤会長）**

山形では集会名称から「高齢」を外し「退職者集会」とした。その辺はどう考えるか。

関ブロ（遠藤 東京会長）奨学金問題にも目を向ける必要がある。

**福岡（藤川事務局長）**

組織拡大のネックは財政問題。会費については多様な実態があるので議論してほしい。また、福岡は、健康増進を運動の中に据えている。

**沖縄（波平会長）**

「高齢者」という名称をやめても代わりは横文字でない方がよい。HP上でも議論したらどうか。奨学金は、地域でも見直す必要。沖縄県知事選、玉城さんへのご支援ありがとうございます。

**（事務局）「高齢者」については検討したい。奨学金問題は認識している。会費問題等、受け止めて議論したい。**



答弁する  
早川副事務局長

点で考  
えてい  
くこと  
になる。

**学習会**

**連合の社会保障政策について**



佐保昌一さん  
連合総合政策推進局  
総合政策推進局長

75歳以上の人口は2025年まで急激に増加し、その後落ち着きます。一方、生産年齢人口の減少は、25年以降さらに加速します。単身世帯

特に高齢者単身世帯が増加します。連合試算では35年に社会保障給付費が190兆円を超えます。これをどうまかなうかが現在の課題です。

後期高齢者医療制度の保険料は2年に一回変わりますが、上昇傾向にあります。

都道府県ごとの平均額では倍以上の差があります。

マイナカードを医療機関で使った場合にディスプレイから始まります。医療機関で差が出ます。不公平な感じですが、もう少し整備が出来てからという主張をしましたが、通りませんでした。

介護保険料は制度開始当時の倍、6千円台になりました。市町村ごとで3倍以上の差があります。将来は8千円ないし1万円程度まで行く可能性もあります。

連合の主張してきた社会保障の適用拡大は、24年10月から従業員数51人以上まで拡大されます。人材確保の必要性もあり、予想より反対が強くありませんでした。

**新役員のご紹介**

**ブロック代表幹事**



羽田則夫さん  
（東北B・福島）  
大変な重責ですが、東北の皆さんとともにごんばります。



升田正通さん  
（中国B・山口）  
1年間ごんばりますので、よろしくお願ひいたします。